

# テランガナ州概要

2026年6月  
在チェンナイ総領事館

## 1 基礎データ

- \* 州都: ハイデラバード
- \* 人口: 3854万人(2026年4月推計)
- \* 面積: 11万2077km<sup>2</sup>(県(District): 33)

- \* 識字率: 76.9%(男性: 84.7%、女性: 69.4%)(2023-24年)
- \* 宗教別人口比率: ヒンドゥー教; 85.56%、イスラム教; 12.75%、キリスト教; 1.28%(2011年)
- \* 主要言語: テルグ語

## 2 政治

### (1) 州政府

- \* 州知事: シブ・プラタップ・シュクラ  
(Shiv Pratap Shukla)  
(2026年3月～)
- \* 州首相: A.レバント・レッディ  
(A.Revant Reddy)(CONGRESS)  
(2023年12月～)



レッディ州首相

### (2) 州議会: 二院制

- 下院(定員: 119)(任期5年)(2028年12月任期満了)
- \* 与党: CONGRESS(INC)66、INDIAN COMMUNIST PARTY(CPI)1
  - \* 野党: INDIAN NATIONAL CONGRESS PARTY(BRS)37、INDIAN NATIONAL PARTY(BJP)8、MUSLIM PRADESHIYA MAJLIS(AIMIM)7
- 上院(定員: 40)(任期6年、2年毎に3分の1の改選)
- \* 与党: INC6、CPI1
  - \* 野党: BRS20、BJP3、AIMIM2など

### (3) 概況

2014年のアンドラ・プラデシュ州との分離独立後、ラオBRS政権が2期9年にわたり一貫して政権を握り、比較的順調に経済を拡大。しかし、現政権批判などから、2023年12月の州議会選挙で、CONGRESSが勝利し、レッディ新州首相が就任。またBJPも議席を増加。

## 3 経済

### (1) 主要指標

- \* 名目州内総生産(GSDP): 17兆8219億ルピー(2025年度)
- \* 1人当たり所得: 41万8931ルピー(2025年度)
- \* 実質GSDP前年度比成長率: 10.24%(2025年度)  
←11.48%(2024年度)

### (2) 特徴

主要産業はIT、製薬、繊維、鉱物など。国内有数のIT都市であるハイデラバードにはマイクロソフト、アップル、グーグル、アマゾンなどのグローバル企業が進出。

医薬品原薬はインド全体の生産高の40%、輸出高の50%を占める。州政府はハイデラバード近郊で約19,000エーカーの製薬産業集積地ファーマシティを整備中。

産業構成比は第一次産業16%、第二次産業19%、第三次産業65%(2025年度)。

### (3) 日系企業の動向

進出日系企業拠点数は169(2024年10月現在)。主な進出企業は東芝(送配電機器製造販売)、日立製作所、ニプロ(医療機器販売)、アルバック(真空装置等販売)、大気社(クリーンルーム)など。

## 4 テランガナ州との関係が深い地方自治体

- \* 北九州市、広島県、三次市など